



ごあいさつ

院長 貝嶋 光信



昨年末に中国武漢市で始まった新型コロナウイルス感染症は、1ヶ月足らずで世界中に広がり、2月18日現在で中国の感染者数は七万人を越えたとされ、我が国の感染者数も日に日に増加の一途を辿っています。ウイルスの蔓延を防ごうと、各地で人の行き来や集会などが抑制され始め、世界や我が国の経済活動が縮小しつつあります。世界はこれまでに経験のしたことの無い「ウイルス感染による経済恐慌」に陥るかもしれません。

このウイルス感染症のやっかいなところは、発症初期にはその他のウイルス感染症（つまり一般の風邪症状）と見分けがつかないことです。これが治りにくい人にウイルスのPCR (polymerase chain reaction) 検査が実施されて初めて診断が確定に至ります。ですから実際の患者数は既に発表されている数字の何倍にもものぼることは想像に難しくありません。

この感染症に対し恵み野病院が出来る対応は限られます。恵み野病院には毎日多くの患者さんが来院されます。これら一般の患者さんと新型コロナウイルス感染者とをごちゃ混ぜに診療することは危険です。しかし風邪症状のある患者さんがすべて新型コロナウイルス感染者ではありません。風邪症状のある患者さんをトリアージ（重症度識別）し、軽症の人は必要な処方をして在宅で経過を見て頂く。重症者には厳重な病棟個室管理とPCR検査を実施する、陽性と判定されれば専門病院へ搬送することになります。近いうちに数時間以内で新型コロナウイルス感染症か否かを判定できるキットの開発が待たれます。

もしもあなたが新型コロナウイルスに感染したとして、8割以上の人は軽症で経過し回復するという疫学調査が出ています。過度に恐れること無く、手洗いやアルコール手指消毒を励行するようにしましょう。嵐はきっと去って行きます。
(2020/02/25記)

外来受診でお待ちの患者様へ

**37.5℃以上の発熱と
呼吸器症状が
4日以上持続している方は、
受付までお知らせ下さい。**

せき、鼻水などの風邪の症状がある患者様は、マスクの着用をお願いいたします。マスクは売店にて販売しておりますので、各自で用意下さい。



2020年2月19日
病院長

厚生労働省

www.mhlw.go.jp

国立感染症研究所

www.niid.go.jp

北海道庁

www.pref.hokkaido.lg.jp



病院敷地内禁煙のお知らせ

当院の**病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止**となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



日本衛生材料工業連合会
www.jhpia.or.jp



日本製紙連合会
www.jpa.gr.jp



BPO 放送倫理・番組向上機構
www.bpo.gr.jp



恵み野地区 健康教室と交流会

2月13日に恵み野憩の家で開催された「恵み野地区むつみ会健康教室と交流会」の第一部として、当院副院長の鎌田 恭輔医師と、放射線科技師長の菅原 寛之技師が講演を行いました。



恵み野訪問看護ステーション「はあと」紹介

医療法人北農会 恵み野訪問看護ステーション「はあと」
所長 樋口秋緒

愛称は「はあと」。

「はあと」は、地域の皆様のために誕生してから、16年の月日がたちました。

「はあと」の名称の由来は、「利用者様やそのご家族によりそうやさしい心」です。

そのモットーは、**北農会の理念である「やさしさと温もりのある医療・介護の実践」**を基盤として、

- I・「生活の場」の中で、よりよい状態で暮らしていけるよう、「看護のかかわり」を通し、「よりよい状態の保持」「疾病や障がいの改善」を目指し、ご支援していきます。
- II・利用者様やご家族様の健康問題のための自立をお手伝いし、その可能性を引き出し、自分らしく暮らされ、充実した生活を送れるよう目指して働きかけていきます。

そのために・・・私たち「はあと」のスタッフは、

- ・ご利用者様のくらしそのものを大切にした看護の提供をいたします。
 - ・ご利用者様やご家族様のおもいがあるがままうけとめ、そのおもいに寄り添いながら療養において一番よい方法をともに考えご支援していきます。
 - ・ご利用者様やご家族さま取り巻く環境、資源にも働きかけ、ネットワークを大切にしながらご支援していきます。
 - ・常に一番良い方法をご提案・ご提供できる為に、医療・看護の技術や情報に敏感であり、自己研鑽してまいります。
- と、掲げ、日々頑張っているのです。

1. 「はあと」誕生から16年間のあゆみ

2003年、病院の医療相談室から訪問看護として、スタッフ2名で出向いていました。主に外科系の患者様で、ターミナル期で往診が必要な状態にある方の訪問と往診同行をしていました。2005年6月1日、地域の方々に、恵み野病院の退院後にも安心して暮らして頂けるよう、訪問看護ステーション「はあと」を設立しました。その後、訪問看護の利用者様は増え、スタッフも5人体制で実施していましたが、ステーションの基準の2.5人のスタッフ確保や恵み野病院との連携強化と、訪問看護利用者の9割は恵み野病院利用者様か、指示医も恵み野病院であることから、きめ細かなケアと対応をしていくため、2008年1月1日に、恵み野病院訪問看護室「はあと」へ変更しましたが、2016年6月1日、再度、恵み野訪問看護ステーション「はあと」として活動を復活させました。

「はあと」は、開設より24時間365日の連絡体制をとり、臨時対応や、ケアの必要性に応じ、休診日であっても訪問看護の提供や受診の調整をするなど、利用者を中心に考えたサービスの提供を現在も心がけています。特に恵み野病院で急性期治療を終えた患者様への即日対応、2014年からはヘルパーステーション「あい」も開設し、ヘルパーと協働し、在宅療養者の生活をトータルに支援しています。月日がたっても、「はあと」の理念は変わりません。



2. 「はあと」のスタッフ

現在、看護師、理学療法士、作業療法士、総勢12名のスタッフがおります。看護師においては、ケアマネージャーの資格や、糖尿病療養指導士資格、慢性疾患看護専門看護師、特定行為も出来るナースプラクティショナーもいます。より専門的に丁寧に、ケアを提供しています。

3. 「はあと」の特徴

一般急性期病院に所属する訪問看護ステーションとしての特徴を最大限に発揮しています。末期のがんの患者様、自宅で最期を迎えたい、管が身体についている。点滴が日必要。そんな方でも、ご支援できます。地域は、恵庭・千歳・北広島に在住する方々です。また、介護保険での利用者様については、地域の居宅介護支援事業所、デイサービス・デイケア施設との連携をしっかりと行い、医師との連携、調整などを行っています。

循環器平山医師と。



病院敷地内禁煙のお知らせ

当院の**病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止**となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

